年間授業計画　様式例

高等学校　（１学年用）　　教科　　芸術　　書道Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　書道Ⅰ　　単位数：２　　単位

対象学年組：第　１学年　Ａ　組～　Ｅ　組　　Ａ

使用教科書：（　書Ⅰ　光村図書　　）

教科　芸術　　の目標：

【知　識　及　び　技　能】　芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

科目　　書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の文化についての基本的な知識を深める。基本的な表現技能を身につける。	意図に基づいて構想しよりよい作品になるように工夫する能力を育成する。	感性を高め、主体的に書の文化に親しむようにする。積極的に制作するようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			漢仮	漢	仮						
１学期	A基本的な表現技法 【知識及び技能】科目の目標・内容を理解させる。【思考力、判断力、表現力等】毛筆の基本的な表現技法を理解させる。【学びに向かう力、人間性等】積極的に制作する態度を養う。	科目の目標・内容・書道用具・用材の特質を理解させる。典型的な楷書・行書・仮名・漢字仮名交じり文の課題を書かせる。　教材　教科書、プリント、書道用具		○	○	○	科目の目標・内容を理解している。毛筆の基本的な表現技法を用いることができる。学んだことを創作に応用できる。積極的に制作している。	○	○	○	10
	B　古典の表現技法 【知識及び技能】　古典の様々な表現技法を理解させる。　【思考力、判断力、表現力等】　それぞれの古典の表現技法を使って文字が書けるようにする。　【学びに向かう力、人間性等】　よりよい作品になるように工夫を続ける態度を養う。	様々な古典を臨書させる。　教材　教科書、プリント、書道用具		○	○	○	古典の表現技法で文字が書ける。学んだ技法を創作に応用できる。積極的に制作している。	○	○	○	16
２学期	C仮名の表現技法 【知識及び技能】仮名の様々な表現技法を理解させる。【思考力、判断力、表現力等】学んだ技法を用いて創作できるようにする。【学びに向かう力、人間性等】変化と統一がある作品を積極的に制作する態度を養う。	仮名の様々な表現技法を指導する。仮名の様々な表現技法を用いて創作させる。教材教科書、プリント、書道用具			○	○	仮名の表現技法を使って創作できる。	○	○	○	12
	D創作の技法 【知識及び技能】創作の様々な技法を理解させる。【思考力、判断力、表現力等】学んだ技法を使って創作できるようにする。【学びに向かう力、人間性等】よりよい作品になるように工夫を続ける態度を養う。	創作の様々な技法を紹介し、その技法を用いて創作させる。　教材　教科書、プリント、書道用具	○	○	○	○	各種の創作技法を理解理解している。学んだ技法を創作に応用できる。積極的に制作している。んだ	○	○	○	16
３学期	E紙面構成 【知識及び技能】紙面構成の効果を理解させる。【思考力、判断力、表現力等】紙面構成を工夫させて創作させる。【学びに向かう力、人間性等】よりよい作品になるように工夫を続ける態度を養う。	様々な紙面構成の作品を紹介する。紙面構成の効果を考えた創作作品を書かせる。教材教科書、プリント、書道用具	○	○	○	○	紙面構成の効果を理解し創作に応用できる。積極的に制作している。	○	○	○	16
											合計
											70